

## 第7次総合計画の補正（案）

【資料11-13】

第3次環境基本計画の上位計画である第7次総合計画は、2022年4月スタートの予定で、総合計画審議会で検討中

9月9日の総合計画審議会ではほぼ最終になる予定とのことで、早急な検討・補正が必要で、そのために担当課が環境審議会での審議後、総合計画事務局に連絡することがベター

## 施策24 環境に配慮した活動の促進

## 当初案

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)	指標の説明
二酸化炭素排出量	1,005t-CO <sub>2</sub> (H29)	減少	本市における年間の二酸化炭素排出量です。



## 補正後

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)	指標の説明
① 温室効果ガス排出量	② ③ 1,210千t-CO <sub>2</sub> eq (2013 H25) ④	⑤ 32.5%削減	日本の国際公約の削減目標である2013年度に対する2030年度46%削減目標の2025年度 (R7) の按分値です。⑥

## 項目別補正の考え方

① 温室効果ガス	パリ協定および日本の国際公約は二酸化炭素排出量だけではなく、温室効果ガスを対象にしている。
② 1,210	府中市の2013年度の温室効果ガス基準値 温室効果ガスにはCO <sub>2</sub> の他、急増している代替フロンなどを含む 当初案はH29の数値だが、毎年6月頃更新のため、4月開始の総合計画のためには基準値がベター
③ 千t-CO <sub>2</sub> eq	単位は当初案での表示値の1,000倍が正 eqは換算 (equivalent) の略
④ 2013 H25	直近では平成30年度の数値も公表されており、H29の数値も2030年または2050年までの計画期間の中間値にすぎない。 マスコミなどで、基準年度は2013と表示されることが多いため、和暦と併記
⑤ 32.5%	単純に「減少」の表記では、市の考えは伝わらない。 2030年度の目標は%表示であり、実数の表記より本市の目標も%表示がベター
⑥	日本政府の公式目標に沿った温室効果ガス削減目標とすることを表示することが望ましい。